(穀類、トウモロコシ、未成熟トウモロコシの登録農薬を使用できる。トウモロコシ(子実)、飼料用トウモロコシの登録農薬は使用不可)

		人	使	使	苗	にピ	フ	紋	す	褐
	作用機構	畜	用時	用	立	シウム・	ザリウ		す	色
薬剤名	用機構分類コー	毒	期(日	回	枯	る 病	ムによっ	枯	紋	腐敗
	ř F	性	数	数	病	⁷⁷⁷ ト ニ 害ア	る 病 害	病	病	病
スターナ水	31		1	3						0
ベンレート水	1		*b	1			۲			
アフェットFL	7		7	2				0		
リゾレックス水	14		14	2				0		
チルト乳25	3		7	2					1	
トリフミン水	3		7	3					0	
バリダシン液 5	U18		7	3				0		
オーソサイド水80	M4		*b	1		0				
ベンレートT水20	1 • M3		*a	1	1					
シグナムWDG	7 · 11		7	2					0	

*1:スイートコーン…未成熟トウモロコシ

*a:播種前 *b:播種前(種子処理機による種子粉衣)

ト:「トウモロコシ」での登録

(穀類、トウモロコシ、未成熟トウモロコシの登録農薬を使用できる。トウモロコシ(子実)、飼料用トウモロコシの登録農薬は使用不可)

## A	即科用トリモロコン0	ノ豆乳灰														
用		作	人	使	使	ア	力	ア	ツ	ハ	ョ	ア	ダ	オ	ネ	ハ
横					" -				-				ĺ .	'		
機構 音 時 用 ラ メ ク ク ク ク ク ク ク ク ク				Ж		ブ		n		ス	١.		1	+	丰	
乗剤名		機		時			メ	_	シ		-	ワ	١.	~	١,	
乗剤名		樺	台		用用	=		, .	n	モ			メ	7-	11	9
## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ##	-11			期		フ	١.			١.	. 1		,	1 2	リソ	
# 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	楽剤名						Δ		1	>	ワ	3	1	١.		
Tana		硩	-		-	ム		メ	+	_			-	バ	4	
T			毐	H	回		· .		_	=	١,	1	ナ			_
F E S M M M D D D D D D M M						3/	ン	1	=	,	1			7	3/	
下 性 数 類 ガ ウ ウ ウ ガ 類 類 ガ ウ ウ ウ ガ 類 類 ガ ヴ ヴ ヴ ヴ ガ 類 類 類 ガ ヴ ヴ ヴ ヴ ガ 類 類 類 ガ ヴ ヴ ヴ ヴ ガ 類 類 類 ガ ヴ ヴ ヴ ヴ ガ 類 類 類 ガ ヴ ヴ ヴ ヴ ガ 類 類 類 ガ ヴ ヴ ヴ ヴ ヴ ヴ ヴ ヴ ヴ				数		´		- 1	ト					_	_	
TAマルクDF		ド	M-		*/~	米石	米石	+i		д,	37	4	1	+i	米石	米石
サブリナト **** *** *** *** *** *** *** *** ***			1生.	·		粗	粗		ソ	ソ	~	ソ	ソ	//	狽	規
サブリナト **** *** *** *** *** *** *** *** ***		11A		*b	_			稚								
ジャックボット類水 11A *b - トト ト ト ト ト	サブリナFI	11A		*h	_			雑								
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##				*h	_				_							
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	ガンター川軽水				_			-	-					_		
デルプィン類水 11A *b - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	エー・カラカル							-	ı					1-		
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	エューレック 人利小								ŗ							
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	<u> アルノイン顆水</u>	IIA		*b					1					<u> </u>		
デナポン粒 5	サフオイル乳	-			_											
TA		1.4		21	0								0			
オルトラン木	アナ かン私 5	1A			2			(1)								
スミチオン乳 1B 7 4 トトトト	ナルトランル	1 D			9	0										
ダイアジノン粒5 1B 14 2						0	,		,							
Tグロスリン乳 3A	スミナオン乳	1B		7	4		_		h							
Y	ガノマバンハル	1.0		14	2			(0)								
アグロスリン乳 3A 劇 7 3 ト ト ト ト ト ト アディオン乳 3A 14 4 ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト ト	ダイナンノン粒5	IB													0	
アディオン乳 3A 14 4 ト ト ト ト ト ガードベイトA粒 3A *c 4 トレボン乳 3A 7 4 トトトトトレボン乳 3A 7 4 トトトトトトトトトトレボン乳 4A 7 2 ◎ アルバリン顆溶 4A 1 3 ◎ ◎ ◎ ア ◎ ダントツ溶 4A 劇 1 3 ◎ ◎ ○ ア ◎ グントツ溶 4A 劇 1 3 ◎ ○ ア ◎ グントツ溶 4A 劇 1 3 ◎ ○ ア ◎ グントツ溶 4A 劇 1 3 ◎ ○ ア ◎ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	マガーコリン図	0.4	dêri			1		1				1			0	
ガードベイトA粒 3A *c 4			劇									ト				
トレボン乳 3A 7 4	アディオン乳	3A		14	4	-		-								
トレボン乳 3A 7 4	ガードベイトA粒	3A		*c	4										1	
アルバリン顆溶	トレギン図							L	L			L				
スタークル 類溶 イA	トレハン扎							1,	-1,			-1,				-
スタークル 類溶 イA	アクタフ顆浴	4A		7	2	0										
スタークル粗溶	アルバリン顆溶	4.4		1	9		0									
ダントツ溶 4A 3 3 0 ア 0 モスピラン顆溶 4A 劇 1 3 0 0 ドランスフォームFL 4C 1 3 0 0 ピレスコ顆水 4C 1 3 0 0 0 ディアナS C 5 1 2 0 0 0 カ アニキ乳剤 6 1 3 2 0 0 0 カ カ コルト顆水 9B 1 3 0 0 0 0 カ 0 0 0 カ 0 </td <td>スタークル顆溶</td> <td>4A</td> <td></td> <td>1</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	スタークル顆溶	4A		1	3	0	0									
モスピラン顆溶 4A 劇 1 3 ○ トランスフォームFL 4C 1 3 ○ ビレスコ顆水 4C 1 3 ○ ディアナSС 5 1 2 ○ ○ ○ アニキ乳剤 6 1 3 ○ ○ ○ ○ プンテーム乳 6 3 2 ○ ○ ○ ○ コルト顆水 9B 1 3 ○ ○ ○ ○ コルト顆水 9B 1 3 ○ ○ ○ ○ コーデッド 13 劇 1 2 ト ト ト パダンを3 14 劇 7 2 ト ト ト カスケード乳 15 7 2 ○ ○ ○ ○ マトリックFL 18 1 3 ○ ○ ○ アクセルFL 20B 1 1 ○ ○ フェーックス顆水 28 1 3 ○ ○ ○ フーバンドした 28 1 3 ○ ○ ○ フーバンドした 29 3 2 ○ ○ ○	ダントツ次	4.4		3	3	\bigcirc	ア		\bigcirc							$\overline{}$
トランスフォームFL 4C 1 3 ◎ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	アフルコン間の		dêri	_				-	0		-			-		
ビレスコ顆水 4C 1 3 ○			劇	_												
ディアナSC 5 1 2 0 0 0 0 カ アニキ乳剤 6 1 3 0 0 0 0 カ アファーム乳 6 3 2 0 0 0 0 カ コルト顆水 9B 1 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	トランスフォームFL	4C		1	3	0										
ディアナSC 5 1 2 0 0 0 0 カ アニキ乳剤 6 1 3 0 0 0 0 カ アファーム乳 6 3 2 0 0 0 0 カ コルト顆水 9B 1 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	ビレスコ顆水	4C		1	3	0										
アニキ乳剤 6 1 3 ○ ○ ○ 力 アファーム乳 6 3 2 ○ ○ ○ ○ ○ □				_		0		0						0		
アファーム乳 6 3 2 ○ ○ ○ ○ コルト顆水 9B 1 3 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ □				_				0								7.
コルト顆水 9B 1 3 ◎ 1 2 トトトトトトルペダンSG溶 14 劇 7 2 トトトトカルダンSG溶 14 劇 7 2 トトカルダン数4 14 劇 7 2 トトカルダン数4 14 劇 7 2 トカスケード乳 15 7 2 ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○									\sim	0						カ
コテツFL 13 劇 1 2 トトトトトパグンSG溶 14 劇 21 2 トトトカトパグンSG溶 14 劇 21 2 トトトカトカスケード乳 15 7 2 ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	アファーム乳	6		3	2				0		0			0		
コテツFL 13 劇 1 2 トトトトトパグンSG溶 14 劇 21 2 トトトカトパグンSG溶 14 劇 21 2 トトトカトカスケード乳 15 7 2 ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	コルト顆水	9R		1	3	0										
パダンSG溶 14 劇 21 2 トトト パダン粒4 14 劇 7 2 トト カスケード乳 15 7 2 ◎ ◎ ◎ ◎ □ カネマイトFL 18 1 3 ◎ ◎ □ カネマイトFL 20B 1 1 1 □ □ アクセルFL 22B 1 3 トト フェニックス顆水 28 1 2 トトト プレバソンFL 5 28 1 3 ◎ ◎ ◎ ○ ○ ベネビアOD 28 1 3 ◎ ◎ ◎ ○ ○ ヨーバルFL 28 1 3 ◎ ◎ ◎ ○ ○ ララDF 29 3 2 ◎ ◎ ◎ ○ ○ グレーシア乳 30 1 2 ◎ ◎ ◎ ○ プレオFL UN 1 2 ◎ ○ ○ フーチン - 1 -			旭川	_		•			1					1		1
パダン粒4 14 劇 7 2 ト カスケード乳 15 7 2 ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ □ ◎ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □								,						l,		١,
カスケード乳 15 7 2 ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	ハタンSG浴	14		21					 							
カスケード乳 15 7 2 ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	パダン粒 4	14	劇	7	2			}								
マトリックFL 18 1 3 ◎ ◎ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	カスケード到	15		7				<u></u>	0					0		
カネマイトFL 20B 1 1 1									9							\vdash
アクセルFL 22B 1 3 トト フェニックス顆水 28 1 2 トト プレバソンFL 5 28 1 3 ◎ ◎ ◎ ◎ ベネビアOD 28 1 3 ◎ ◎ ◎ ◎ ヨーバルFL 28 1 3 ◎ ◎ ◎ ◎ ヴララDF 29 3 2 ◎ ◎ グレーシア乳 30 1 2 ◎ ◎ ブレフンアSC 30 1 3 ◎ ◎ ◎ フーチン - 1 -				-				0								
フェニックス顆水 28 1 2 トトト ト フレバソンFL5 28 1 3 ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	カネマイトFL	20B		1	1											0
フェニックス顆水 28 1 2 トトト ト フレバソンFL5 28 1 3 ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	アクセルFL	22B		1	3			ト	1							
プレバソンFL5 28 1 3 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0				1										L		
ベネビアOD 28 1 3 ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○			-	-						-					-	\vdash
ヨーバルFL 28 1 3 © © © © © 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0				1					\sim							
ヨーバルFL 28 1 3 © © © © © 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	ベネビアOD_	28		1	3	0		0	0					0		
ウララDF 29 3 2 ⑤ グレーシア乳 30 1 2 ⑤ ブロフレアSС 30 1 3 ⑥ ⑥ プレオFL UN 1 2 ⑥ ⑥ フーモン - 1 - ト				1				0	(0)					0		
グレーシア乳 30 1 2						0						1				\vdash
ブロフレアSC 30 1 3 © © © 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0				3		9		-	-	 	-	-	 	-	-	
プレオFL UN 1 2 © 0 T-モン - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	クレーシア乳			1												(0)
プレオFL UN 1 2 © 0 T-モン - 1 - 1 - 1 ト	ブロフレアSC	30		1	3			0	0							
フーモン - 1 - ト				1										0		
ノーモン - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -		OIN		-		!		—	9		—	1		-		1
<u> バーマチオン水 1B・3A 劇 7 4 ト ト ト ト </u>	ノーセン		6.7			⊢.	<u> </u>	L.	L.		ļ			ļ		
	バーマチオン水	1B • 3A	劇	7	$\perp 4$	\Box	\Box \vdash		\Box	L			L		L	

^{*1:}スイートコーン…未成熟トウモロコシ

^{*}a:播種前 *b:発生初期(但し収穫前日まで) *c:生育初期

^{*}d:雄穂抽出期~雌穂抽出期(但し収穫21日前まで) *e:出芽時

ア:アカスジカスミカメ ト:「トウモロコシ」での登録

雑:「雑穀類」での登録

ヤングコーン*1

(スイートコーンの収穫前に欠いた雌穂をヤングコーンとして出荷する場合には、ヤングコーンの収穫終了までは『スイートコーンとヤングコーンの両方に使用可能な農薬』しか使用できないので注意する。)

		人	使	使		にピ	アフ	ア	ア	ツ	3	オ	ネ	ハ
薬剤名	作用機構分類コード	畜 毒 性	用時期(日数)	用回数	ザリウムによる病害	よる病害	に よ る 病 害ザリウム・リゾクトニ	ブ ラ ム シ 類	ワノメイガ	マジロクサヨトウ	トゥムシ	オタバコガ	キリムシ類	ダニ類
ベンレート水	1	14	*a	1	野	<u> </u>		大只	/~	7		/~	为只	大只
オーソサイド水80	M4		*a	1		野								
ベンレートT水20	M3 • 1		*a	1			野							
エスマルクDF	11A		*b	-							野	野		
サブリナFL	11A		*b	-							野	野		
ゼンターリ顆水	11A		*b	-							野	野		
デルフィン顆水	11A		*b	-								野		
ダイアジノン粒	1B		*d	1									0	
ガードベイトA粒	3A		*c	4									0	
モスピラン顆溶	4A	劇	1	2				0						
アニキ乳	6		1	3								0		
アファーム乳	6		1	2							0	0		
コルト顆水	9B		1	1				0						
コテツFL	13	劇	1	2						0		0		0
カネマイトFL	20B		1	1										0
フェニックス顆水	28		1	2					0	0		0		
グレーシア乳	30		1	1										0

^{*1:}ヤングコーンに使用可能な農薬のうち、スイートコーンにも使用可能な農薬を示した。野菜類の他の適用病害虫については「野菜類」の項を参照のこと。

^{*}a:播種前 *b:発生初期(但し収穫前日まで)

^{*}c:生育初期(但し収穫14日前まで) *d:出芽時

野:野菜類での登録

[※]殺菌剤の処理方法:種子処理機による種子紛衣

(穀類、トウモロコシ、未成熟トウモロコシの登録農薬を使用できる。トウモロコシ (子実)、飼料用トウモロコシの登録農薬は使用不可)

主要	病害虫発生消長	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
病	露地 マルチ												
害	すす紋病												
虫	アワノメイガ						_						
1	アブラムシ類									_			
害	アワヨトウ												

作型 — : 栽培期 — : 収穫期 病害虫発生消長 — : 発生期 — : 発生盛期

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
すじ萎縮	播種期	・早まき栽培、麦間栽培を行わな	イネ黒条萎縮病と同
病		い。	じ病原ウイルスによっ
			ておこる。ヒメトビウ
			ンカが媒介する。
苗立枯病	播種前	1.圃場の排水に留意し、密植をさ	
		ける。	
		2. 次の薬剤を処理する。	
		ベンレートT水和剤20〇*	*トウモロコシで登録
		乾燥種子重量の0.5%粉衣	
さび病	播種期	・感受性の高い品種はさける。	
	発生時	・まん延が早いので、発病株は胞	
		子が飛散しないうちに、発生場所	
		でただちに処分する。ビニールに	
		包み、太陽熱処理をすると有効。	
すす紋病	生育期	・発病初期に次の薬剤を散布す	梅雨期及び秋季に気
		3.	温18℃~20℃で降雨が
		トリフミン水和剤 2000~4000倍	続くとき多発しやす
	収穫後	│・罹病残渣を圃場にすき込まな	V '0
		い。	
アワノメ	生育期	・第2化期幼虫のふ化最盛期(7月	△デナポン粒剤は株の
イガ		下旬~8月上旬)に2回、次の薬剤	上から葉身・葉鞘に均
		のいずれかを散布する。	一にかかるように散粒
		デナポン粒剤 5 △ 4~6kg/10 a	する。
ヨトウム	生育期	・ 発生を見たら次の薬剤を散布す	
シ		3.	
		アファーム乳剤 1000~2000倍	

(穀類、トウモロコシ、未成熟トウモロコシの登録農薬を使用できる。トウモロコシ (子実)、飼料用トウモロコシの登録農薬は使用不可)

病害虫名 防陽	余時期	防除方法	参考事項
アワヨト生育ウ	育期	・発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アグロスリン乳剤* 1000倍 トレボン乳剤* 1000倍	筒状部内に黒褐色の虫
			録
オオタバ生電コガ		 1. 虫糞に注意し、幼虫を見つけたら捕殺する。 2. 発生をみたら次の薬剤を散布する。 アファーム乳剤 1000~2000倍 	
その他の病害虫		倒伏細菌病	

^{*1:}スイートコーン…未成熟トウモロコシ